

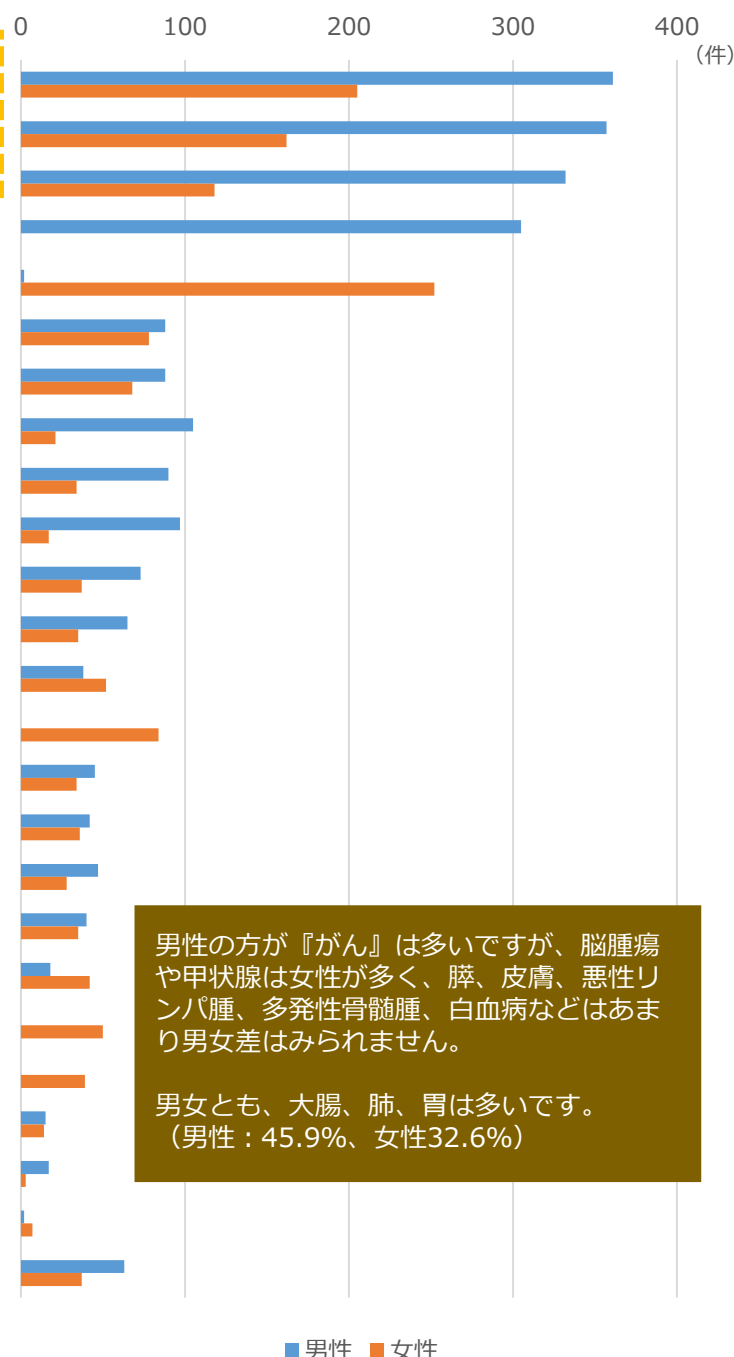
院内がん登録統計 2020年症例

院内がん登録は、病院でがんの診断・治療等を受けた全ての患者さんについて、がんの種類（部位・組織型）・病期・受診経緯・治療内容・予後などの情報を登録する仕組みです。複数の病院が同じ方法で登録を行うことで、情報の比較や病院ごとの特徴や問題点が明らかになることが期待されています。

当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されています。がんに関する診療体制や設備、情報提供、他の医療機関との連携など国が定めた基準を満たし、質の高いがん医療の提供に努めています。「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」により、院内がん登録集計結果を国立がん研究センターに提供しています。情報提供することで国のがん対策に役立てられています。また、当院の診療の把握、特徴や問題点を明らかにすることも出来、がん患者さんへの的確な情報提供を行っています。

1. 部位別・男女別登録件数

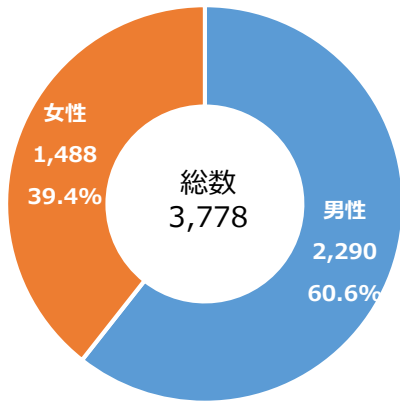
部位	男性	女性
大腸	361	205
肺	357	162
胃	332	118
前立腺	305	0
乳房	2	252
悪性リンパ腫	88	78
膵臓	88	68
食道	105	21
腎・尿路	90	34
膀胱	97	17
口腔・咽頭	73	37
肝臓	65	35
脳・中枢神経系	38	52
子宮頸部	0	84
白血病	45	34
他の造血器腫瘍	42	36
胆嚢・胆管	47	28
皮膚（黒色腫を含む）	40	35
甲状腺	18	42
子宮体部	0	50
卵巣	0	39
多発性骨髄腫	15	14
喉頭	17	3
骨・軟部	2	7
その他	63	37
総計	2,290	1,488



男性の方が『がん』は多いですが、脳腫瘍や甲状腺は女性が多く、膵、皮膚、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病などはあまり男女差はみられません。

男女とも、大腸、肺、胃は多いです。
(男性：45.9%、女性32.6%)

2.男女比



3.部位別登録件数上位5位

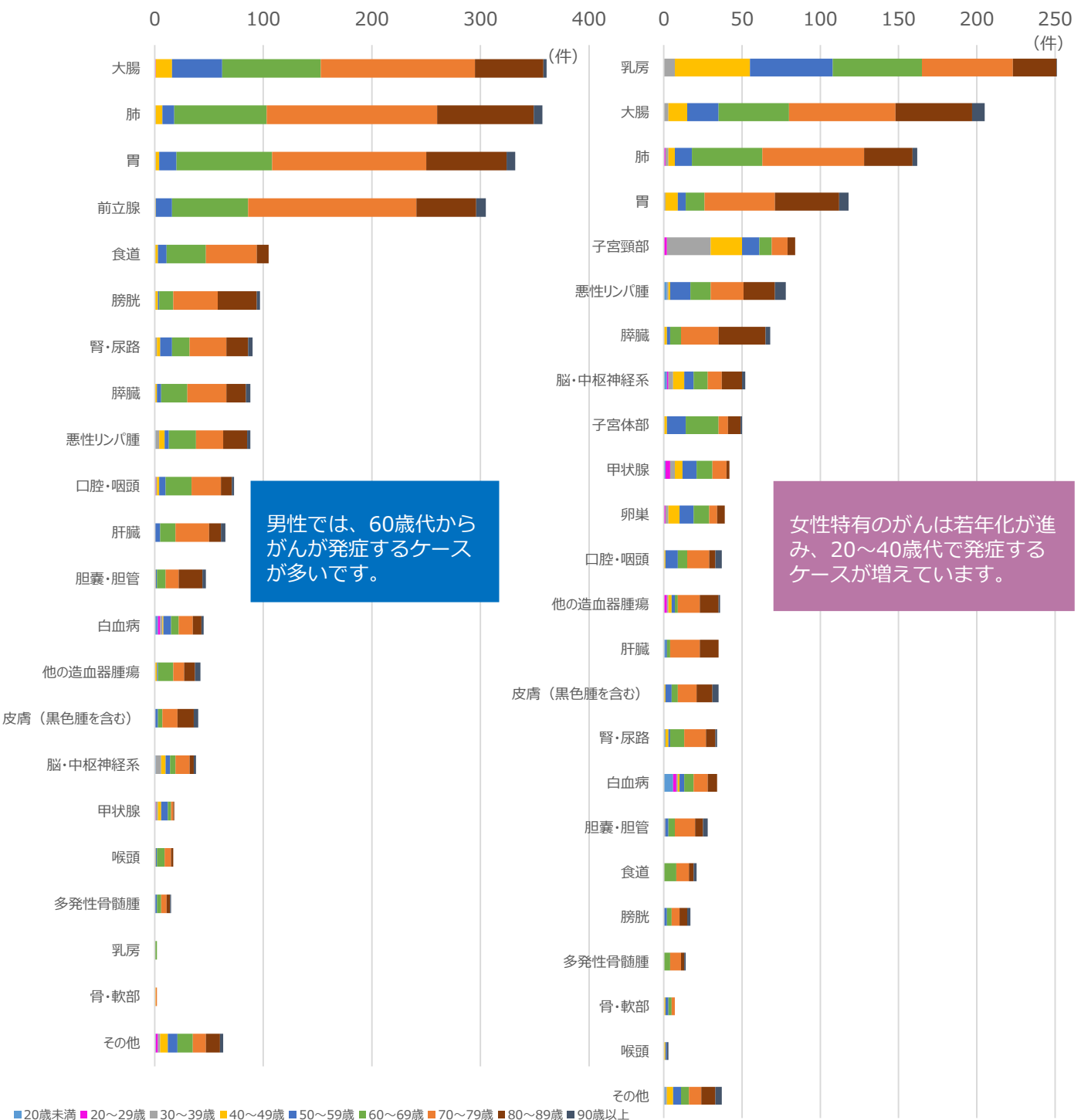
【男性】	部位	件数	【女性】	部位	件数
1	大腸	361	1	乳房	252
2	肺	357	2	大腸	205
3	胃	332	3	肺	162
4	前立腺	305	4	胃	118
5	食道	105	5	子宮頸部	84

当院では女性に比べ男性の患者さんが多い傾向にあります。男性では、大腸がんの患者さんが最も多く受診されており、次いで肺がん、胃がん、前立腺がん、食道がんの順です。女性では、乳がんが最も多く、次いで大腸がん、肺がん、胃がん、子宮頸がんの順となっています。

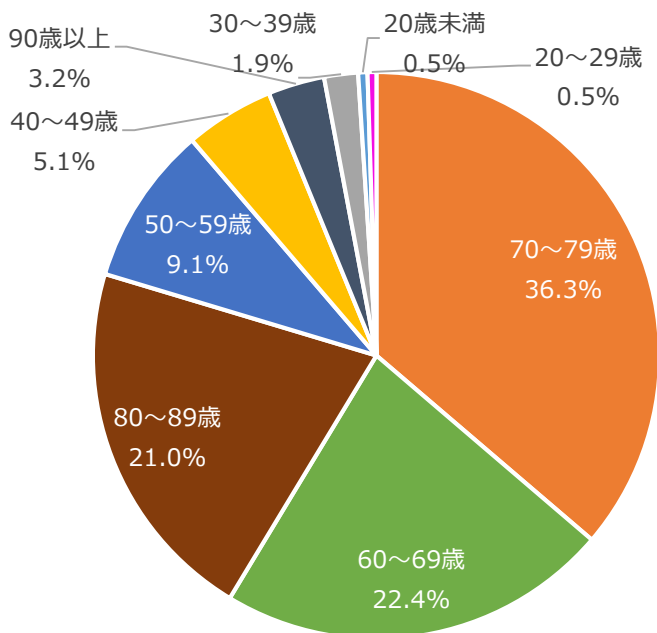
4.部位別・年齢階級別

男性

女性



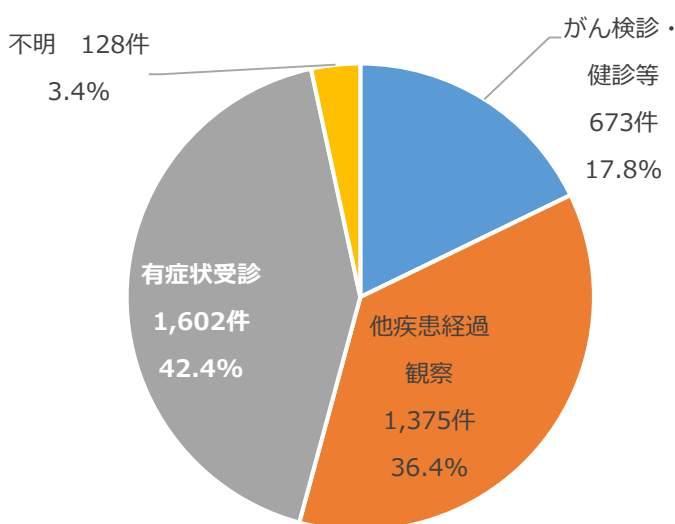
5.年齢階級別の割合



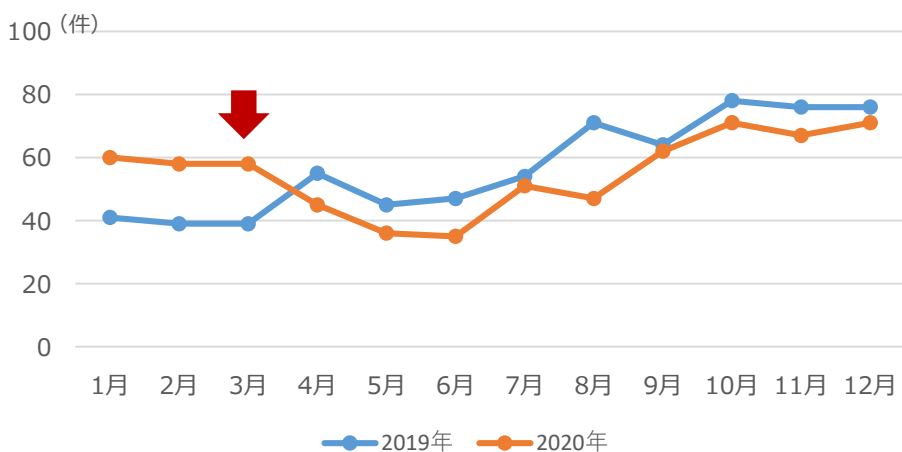
当院は70-79歳のがん患者さんが、36.3%と最も多く、次いで60-69歳が22.4%となっています。全体からみると、60歳以上の患者さんが約8割を占めますが、最近では、子宮頸がんや、乳がんといった比較的若い年代の患者さんも増えています。当院は、全ての年代において幅広く、診療科を越えて、臓器横断的ながん診療を行っています。

6.がんの発見経緯

当院では、症状があって受診されるケースが多いですが、検診等で発見されるケースや、他疾患の経過観察中になんと診断されるケースも多いです。



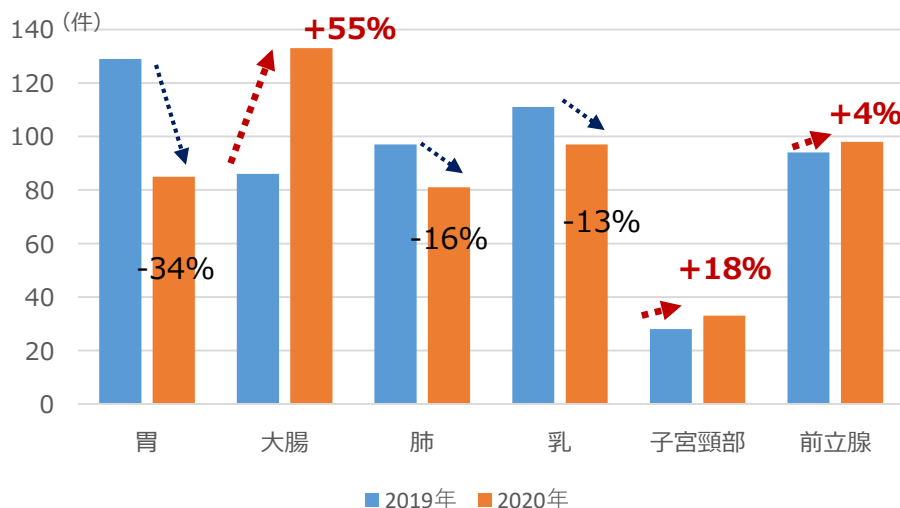
7.検診・健診発見の月別登録数の推移 症例区分80：セカンドオピニオンを除く



2020年3月に岡山県で、新型コロナウイルスの感染者が確認されて以降、前年度を下回っており、受診控えが推測されます。

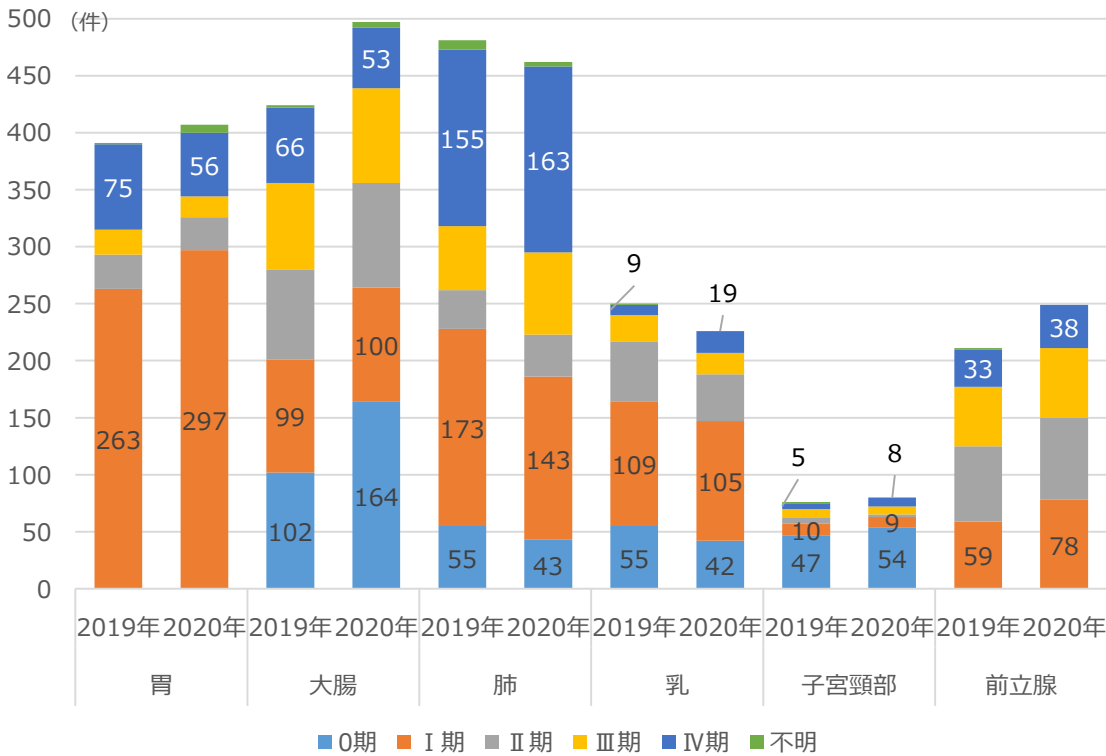
8.がん腫別 検診・健診発見の比較 症例区分80：セカンドオピニオンを除く

大腸、子宮頸部、前立腺に関しては、検診等での発見が増加しています。



9.がん腫別 病期の比較（総合ステージ）

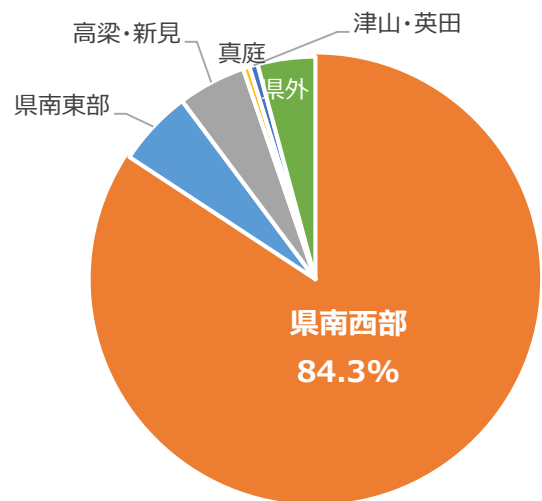
症例区分20、21、30、31：自施設治療症例



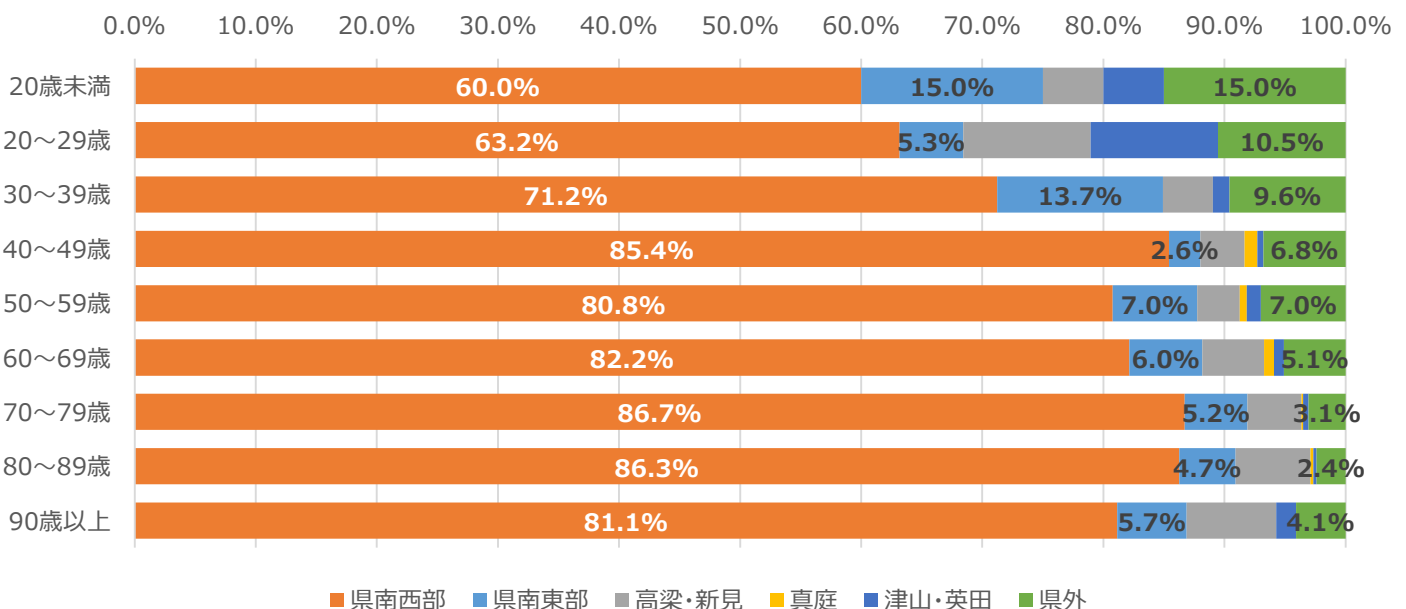
検診等での発見の多い大腸、子宮頸部、前立腺に関しては、早い段階で、がんが発見されています。

10.二次保健医療圏別の割合

医療圏	市町村名	件数	割合
県南西部	倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、都窪郡早島町、浅口郡里庄町、小田郡矢掛町	3,183	84.3%
県南東部	岡山市北区、中区、東区、南区、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気郡和気町、加賀郡吉備中央町	209	5.5%
高梁・新見	高梁市、新見市	187	4.9%
真庭	真庭市、真庭郡新庄村	18	0.5%
津山・英田	津山市、美作市、苫田郡鏡野町、勝田郡勝央町、勝田郡奈義町、英田郡西粟倉村、久米郡久米南町、久米郡美咲町	23	0.6%
県外	広島県、香川県、兵庫県、島根県など	158	4.2%
合計		3,778	100.0%



11.年齢別二次保健医療圏別の割合



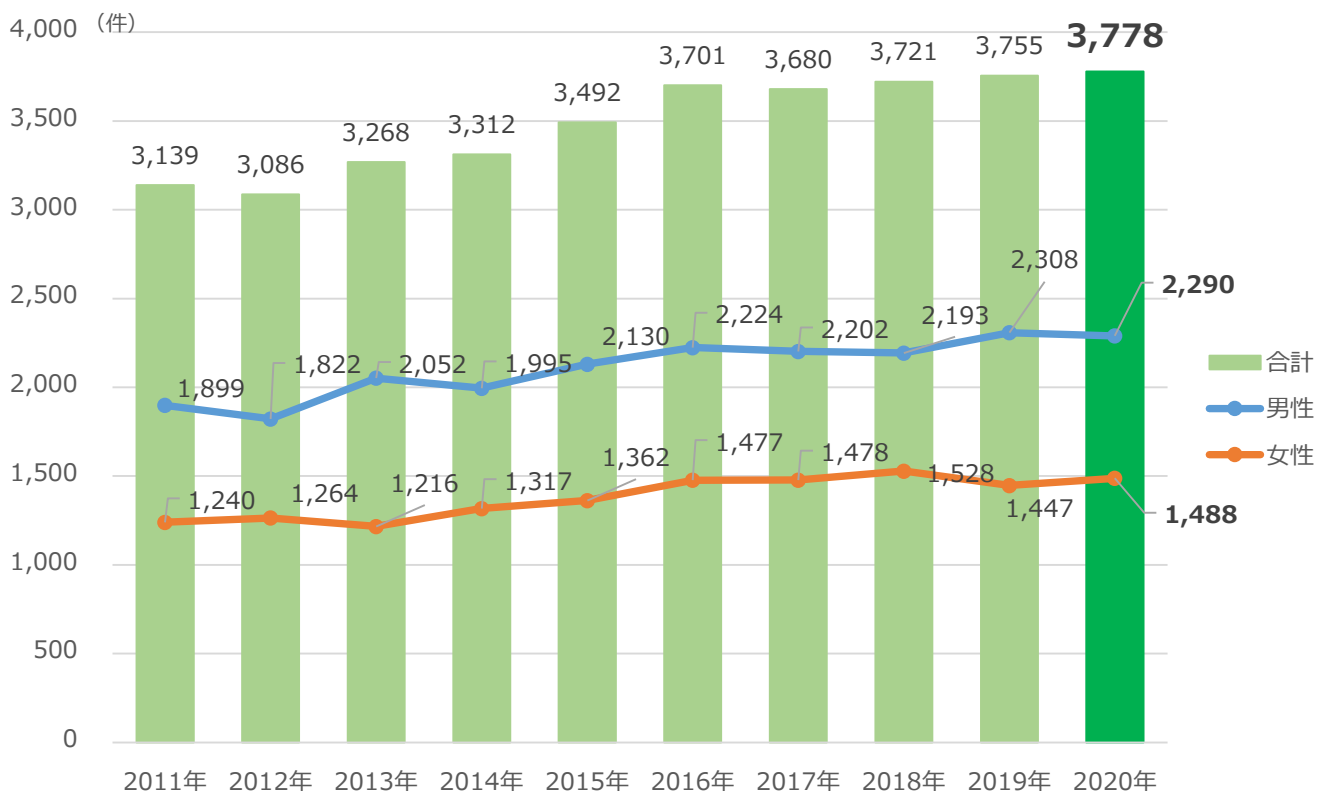
当院は県南西部から来院する患者さんが約8割を占めており、地域密着型のがん診療を行っています。29歳以下では約4割の患者さんが、当院での診断や治療を希望され県南西部以外から来院されています。

12. 部位別登録数

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
大腸	342	347	386	373	389	441	443	532	509	566
肺	473	422	510	520	536	546	485	520	555	519
胃	361	367	409	407	399	485	454	429	453	450
前立腺	309	267	316	301	331	356	302	265	261	305
乳房	180	238	205	244	250	259	256	299	273	254
悪性リンパ腫	140	138	147	142	161	159	146	156	163	166
膵臓	99	111	109	136	135	133	152	164	165	156
食道	77	72	70	51	92	99	126	108	107	126
腎・尿路	94	92	110	93	91	98	115	90	121	124
膀胱	105	112	108	101	116	125	112	120	122	114
口腔・咽頭	68	56	59	77	78	103	100	93	91	110
肝臓	143	130	126	134	142	111	136	158	141	100
脳・中枢神経系	75	72	64	81	115	125	132	138	99	90
子宮頸部	104	75	66	95	79	65	96	62	83	84
白血病	58	59	53	57	48	76	60	77	76	79
他の造血管腫瘍	64	78	95	63	77	61	75	79	96	78
胆嚢・胆管	70	64	65	63	82	73	70	82	67	75
皮膚（黒色腫を含む）	60	53	58	71	70	86	85	73	68	75
甲状腺	112	136	116	106	95	74	92	67	82	60
子宮体部	30	36	36	36	32	35	53	40	39	50
卵巣	27	23	20	26	25	49	31	23	33	39
多発性骨髄腫	35	29	24	36	31	36	32	32	27	29
喉頭	22	29	23	16	29	19	31	29	28	20
骨・軟部	11	4	6	11	9	6	14	5	14	9
その他	80	76	87	72	80	81	82	80	82	100
総計	3,139	3,087	3,268	3,312	3,492	3,701	3,680	3,721	3,755	3,778

当院では大腸がんの患者さんが最も多く、次いで肺がん、胃がんの順となっています。前年と比べて大腸で1割、前立腺は2割程度の患者さんが増加しています。全体的には新型コロナウイルスの影響を受けず、がん診療の継続ができていたことがうかがえます。

13. 登録数の年次推移



当院のがん登録件数は年々増加傾向にあります。中四国地方のがん拠点病院の中で最も登録件数が多い医療機関となっています。